

# JIS

## オイルシールー第 1 部：寸法及び公差

JIS B 2402-1 : 2013

(JAPIA/JSA)

平成 25 年 6 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 機械要素技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	高 増 潔	東京大学
(委員)	相 羽 繁 生	株式会社東郷製作所 (一般社団法人日本ばね工業会)
	石 丸 尋 士	公益社団法人自動車技術会
	市 川 直 樹	独立行政法人産業技術総合研究所
	大 橋 宣 俊	日本ねじ研究協会
	梶 尾 茂 樹	大阪機工株式会社 (一般社団法人日本工作機械工業会)
	高 辻 利 之	独立行政法人産業技術総合研究所 (東京電機大学)
	田 淵 宏 政	社団法人日本バルブ工業会
	堀 功	日本工具工業会
	遠 山 史 雄	一般社団法人日本ベアリング工業会

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 14.7.20 改正：平成 25.6.20

官 報 公 示：平成 25.6.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本自動車部品工業会

(〒108-0074 東京都港区高輪 1-16-15 自動車部品会館 TEL 03-3445-4215)

一般財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 稲葉 敦)

審議専門委員会：機械要素技術専門委員会 (委員長 高増 潔)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	2
3 用語及び定義	2
4 記号	2
5 呼び寸法	2
6 軸	3
6.1 軸端の面取り	3
6.2 軸径の許容差	3
6.3 軸の表面粗さ及び硬さ	3
7 ハウジング	4
7.0 一般	4
7.1 ハウジングの寸法	4
7.2 ハウジング穴径の公差等級	4
7.3 ハウジング穴の表面粗さ	4
8 オイルシールの寸法許容差	5
8.1 シール幅の許容差	5
8.2 シール外径の許容差	5
9 寸法表示コード	6
附属書 A (参考) オイルシールの仕様書	7
附属書 JA (参考) ばねなしオイルシール	11
附属書 JB (参考) JIS と対応国際規格との対比表	12
解 説	14

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本自動車部品工業会（JAPIA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS B 2402-1:2002** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

**JIS B 2402** の規格群には、次に示す部編成がある。

**JIS B 2402-1** 第 1 部：寸法及び公差

**JIS B 2402-2** 第 2 部：用語

**JIS B 2402-3** 第 3 部：保管、取扱い及び取付け

**JIS B 2402-4** 第 4 部：性能試験方法

**JIS B 2402-5** 第 5 部：外観欠陥

## オイルシール—第 1 部：寸法及び公差

Rotary shaft lip-type seals incorporating elastomeric sealing elements—  
Part 1: Nominal dimensions and tolerances

## 序文

この規格は、2007 年に第 2 版として発行された ISO 6194-1 を基とし、対応する部分（寸法及び公差）については対応国際規格を翻訳し、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

また、受渡当事者間の便宜を図るため、購入業者の提示情報及び製造業者の提示情報を記載するオイルシールの仕様書例を、附属書 A に示す。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書 JB に示す。

## 1 適用範囲

この規格は、軸径 6～480 mm 及びハウジング内径 16～530 mm の範囲に適合した、ばね入り回転軸用オイルシール（以下、オイルシールという。）の寸法及び公差について規定する。

オイルシールは、ゲージ圧 0～30 kPa の低圧条件で使用し、構造によって 6 タイプに分類する。それぞれの代表例を図 1 に示す。

なお、ばねなしオイルシールは、附属書 JA に示す。

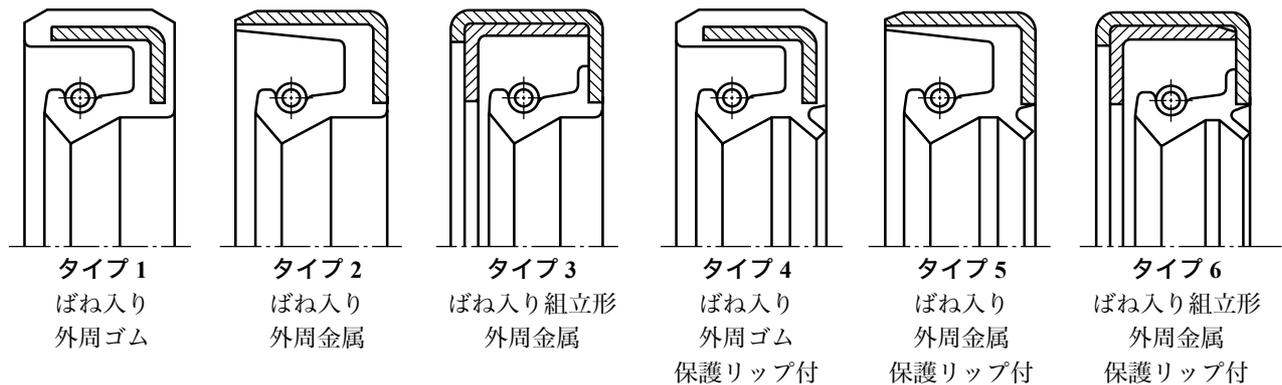


図 1—オイルシールの構造区分例

**注記** この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 6194-1:2007, Rotary shaft lip-type seals incorporating elastomeric sealing elements—Part 1: Nominal dimensions and tolerances (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1 に基づき、“修正している”ことを示す。